

株式会社いづも屋（出雲市）

代表取締役 馬庭崇一郎

社長さんは
こんなかた

クリーニング店から一転、モロヘイヤのサプリメント生産へ。父である先代社長の夢を継いだ馬庭氏は昭和47年生まれの若手実業家。

株式会社いづも屋

事業内容 モロヘイヤの栽培、
加工（サプリメント）

鳥根県出雲市武志町 7 5 5 - 1
(0853)23-7501

（規模）

耕地 6ha

亡き父の夢を継いで

もともとは昭和62年に父が始めたクリーニング店でした。父がモロヘイヤのサプリメント生産に着手したきっかけは、"食"の安全への危機感でした。"食"への信頼が失われつつあると感じ、真に消費者の求める食品を提供し、次世代の日本農業のありかたを真剣に模索・実行するために、平成6年にいづも屋を設立しました。その父が亡くなり、それまで勤めていた先を退職して会社を継ぎました。

休耕田を活用

当初はJAを通してモロヘイヤを栽培してもらっていましたが、委託先の農家の高齢化などによってモロヘイヤの供給が不安定だったため、安定した収量を確保するためにも、自社栽培に切り替える必要がありました。そこで、平成12年に休耕田を借りて個人的に試験栽培を始めました。平成15年2月には農業生産法人となり約2haを利用権設定、現在は全てを自社栽培でまかっています。



認定農業者に（H15年）

農業生産法人となった平成15年の3月には認定農業者にも認定されました。

この年の作付けから有機JAS取得に向けた管理記録の作成を開始し、平成16年には申請面積を6haに拡大します。

現在の人員は社員2名とパートタイム従業員、役員などで常時4名で行っています。

設備は刈取機、定植機、トラクター、ダンプなどですが、今後は作業効率を上げるために、費用対効果をにらみながらさらに農業機械の導入を行っていきます。





販売は90 %が直販、目標は3億

父が始めた当初から、販売は殆ど直販でした。販路は主に健康食品関連雑誌などでの紹介による通販やテレビショッピング、そして、まだあまり多くは出ないけれど、ネット販売も行っています。

現在の売上は約1億7千万円ですが、今後の目標としては、3億円くらいまで伸ばしたいと思っています。

農業への参入は、目先の収益だけを求めてはできないと思います。災害や海外品との競争に打ち勝っていくための研究も必要で、私も今後は大学との共同研究などをしていきたいと思っています。

